

グリーン電力活用しスマホと組み合わせ顧客管理

アスドリーム

おおた かつひこ
大田 勝彦社長に聞く



羽ばたけ整備業

CS向上へ多彩な取り組み

新車・中古車の販売、整備業を手掛けるアスドリーム(大田勝彦社長、茨城県鹿嶋市)。本業に力を入れると同時に、グリーン電力とスマートフォンを組み合わせたサービスや事業再構築補助金制度に申請するなど、さまざまな取り組みを重ねている。今後はこれらの取り組みを通じて、顧客満足度を高めていきたい考えだ。

「最近の取り組みは、長野県と東京都に本社を置くソフトウエア会社であるディーアイシージャパンの整備用ソフトのモデル店になった。風力、太陽光、バイオマスなどの自然エネルギーによって発電されたグリーン電力を活用し、スマホを組み合わせた顧客管理ができるグリーンビジネスシステムとなっている」

「当社が太陽光で発電するグリーン電力を使って整備すると、お客さまにポイントが付くシステムだ。そのポイントを今後、当社の整備で使ってもらう予定だ。スマホで管理することができ、お客さま自身で入庫予約や整備履歴の確認なども可能だ」

「ディーアイシージャパンは今年8月に募張メッセ(千葉県美浜区)で開催された『第2回脱炭素経営EXPO』に出展したが、ブースはお客さまでいっぱいだった。私もここでビデオメッセージを出した。自動車用に関発し、23年半ばまでに整備用

「そのほかの取り組みは、『神栖カーセブン店』に事業構築補助金が降りることになった。整備工場の指定化とエーミング(機能調整)の導入に活用することになっていて、補助金の決定から1年以内に導入しないといけないので、23年半ばまでに整備用



昨年1月に指定化した谷原店のサービス工場

付与ポイント車両整備に利用も

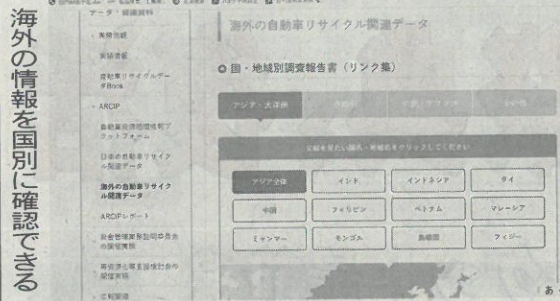
ウェブ上に集約し紹介 国内外のリサイクル関連情報

自動車リサイクル促進センター(JARC)、細田衛士理

事業者の支援狙い

JARC

「国内外の自動車リサイクルに関するさまざまな情報を一元的に紹介したウェブサイト「自動車資源循環情報プラットフォーム」(アーシップ)の公開を始めた。さまざまな団体のホームページなどに点在しているリサイクル関連の情報を、一元的に紹介する。まずは国内の登録リサイクル事業者数の一覧のほか、海外の市場動向や規制に関する情報などを盛り込んだ。自動車メーカーを含めた関係者への情報発信の強化に加え、海外での事業展開を目指すリサイクル事業者の支援に役立てる狙い。」

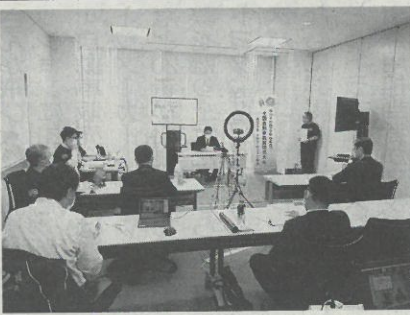


海外の情報を国別に確認できる

高校再編の動き懸念

全自研 自動車科の現状報告

高等学校の自動車系学科の教員などで組織する全国自動車教育研究会(全自研、福田健昌会長)は、東京都内で「第64回全国自動車教育研究大会」を開催した。会員校の教員が自校の自動車科の入試倍率や広報活動などの現状を報告した。また、東京都立葛西



「卒業時のクオリティの高さは保証されており、(入学希望者の増加に向け)良いアイデアがあれば積極的に共有を」と呼び掛けた。大会はオンラインも活用し

入庫台数は順調に伸長／工場指定化でさらに